

# 子どももの学び支援再開

るほか、応用問題を作成。一緒に勉強する姿勢を大事にしているという。

全国の学生で組織するNPO法人「Café de (カフェ・デ) 寺子屋」が小中高校生への学び支援活動を再開し、県内では初日の4月27日に甲府・県防災新館内のオープンカフェ「ま

## 県内大学生ら 甲府で寺子屋

ることやまなし館」で大学生2人が児童2人の勉強を手助けた。

学び支援は2018年に

甲府市内で山梨大生が始めた。20年に学生団体を設立。同年8月にNPO法人となった。現在は福島、東京、山梨、島根などの7都県13カ所に寺子屋を開設している。

やまなし館での活動は「寺子屋まるん」と銘打って21年11月に始まったが、コロナ禍の影響で12月以降休止していた。今回の再開に合わせて、甲府・清運寺でも「出張寺子屋」として活動する。

両寺子屋では山梨大や山梨県立大、都留文科大などの学生22人が携わる。参加する子どもが学校の宿題や自主学習ノートを持ち寄り、大学生は勉強に助言す

「寺子屋を通して自ら進んでやる自立と周りの人と協力する協調を学んでほしい」と設立者の大石紗矢香さん（東大大学院2年）。

山梨支部学生スタッフの鍋谷咲希さん（県立大3年）は「地域の人も訪れる憩いの場であるカフェで大学生と子どもたちが一緒に学ぶというのほどもすてきなことだと思う。多くの人に来てほしい」と話している。

参加した甲府・舞鶴小の児童は「家で勉強すると分からないところに時間をかけてしまうが、大学生と一緒に考えてくれたのでスムーズに勉強ができた。また参加したい」と話していた。

「寺子屋まるん」は毎週水曜日午後5〜7時に、「出張寺子屋」は毎週木曜日午後6〜8時に開く。「Café de 寺子屋」への問い合わせはinfo@cafe-d



小学生の宿題を手伝う、「Café de 寺子屋」学生スタッフの鈴木と恵太さん（左）と鍋谷咲希さん（右）が甲府市のオープンカフェ「まなし館」で勉強を助けている様子。

eratakoya.or.jp

〈鈴木なつ美〉